

コンディションを整えて 各自でトレーニング

帰宅前にミーティングする部



突然の休校について生徒に話を聞くと、亀井玲那さん(212)は「もうすぐ大会だから部活がしたい」、祖父江志帆さん(212)「夏休み



速報新聞

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

がなくなるのは嫌。感染しないよう家にいる」、柴山藍香さん(212)は「睡眠がとれたかったのでちょうどいい機会だけど、夏休みにつけが回ってくるのはしんどい」と話してくれた。ほかに「うれしい。家にいてDVDを観たい」という声や、「休みはうれしいけど、夏休みに学校へ行くのは嫌で複雑な気持ち。家にいてのんびりする」、「とりあえずこの機会に日頃の勉強の遅れを取り戻したい」といった声が聞かれた。

うれしいやら 悲しいやら... 県内高校生の悲鳴

滋賀県内の高校はテスト期間中であるところが多く、突然の休校に「勉強できる時間が増えた」と喜ぶ声がある一方で、「テストは残り1日だけだった。先に終わらせてしまったかった」「新たな課題が出されてうんざり。テスト後の予定が狂った」との声も。

近隣のある高校もテスト最終日を残し休校に。ちなみに宿題はテスト勉強らしい。やはり手放して休みを喜べない人が多いようだった。

生活のリズムを崩さないように
各部の生徒に休校中各自何をするか、を聞いた。「大会も近いので筋肉落とさないように家で筋トレ。顧問の先生は、外に出るな、と筋肉落とすとおっしゃった。」

顧問の先生は個人で走ったり各自何かやっておくように、というようにことをおっしゃった。「顧問の先生は、勉強とか含めて有効に使うことと、外出しないよう、とおっしゃった。」休校中も勉強と共に自主練もしつかりして、次の部活の時に出来るだけ体の筋力とかを維持できるようにしてます。あと、生活のリズムを崩さないように、睡眠時間とか意識してます。顧問の先生からは特に生活面で指示があった。「部活は、大会も近いし、各自練習場所を探して調整。ほかに「とりあえずのんびり? 顧問の先生からは特別な指示はなかった」という生徒もいた。また「マスクを着けてトレーニングに励む」という生徒もいたということだ。